

知行合一

学校教育目標

潤いと輝きにあふれる学校

芦北町立田浦中学校

学校だより 第8号

令和2年9月23日

文責 校長 沖田 龍藏

「未だ一簣（き）を成さざるも、止（や）むは吾が止むなり」【論語】は、「たとえば山をつくる時のように、最後のひと盛りというところで止めてしまうと完成しない。最後までやりきることの大切さを説いています。」

青団、赤団ともに「一致団結」し、感動的な体育大会をつくりあげました！

当初、9月7日（月）から体育大会練習を予定しておりましたが、台風10号の九州接近にともない、臨時休校となりました。今回の台風は、幸いなことに校舎やグラウンドにはほとんど被害をもたらさなかったため、8日（火）に結団式を行い、通常授業と併せて体育大会の練習を開始することができました。体育大会実行委員長の池田君を中心に生徒会執行部、各団長がリーダーシップを発揮し、素晴らしい体育大会をつくりあげてくれました。



今年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、熊本県内の小中学校の多くが来賓を招待することなく、家族のみの応援で規模を縮小して行う体育大会となりました。大会実行委員長からは体育大会ができることへの感謝の言葉こそ聞かれたものの、生徒から不満の声は一切ありませんでした。素晴らしい子供たちだと思ったと同時にそれを支えて頂いている保護者や家族、地域の皆様に感謝の念をもった次第でした。当日は、教育委員会



から岩田教育長がご参列され、生徒の頑張りに対する労いの言葉かけをして頂き、大変有り難かったです。体育大会を通して、3年生は最上級生としての自覚を練習態度に感じることができました。また、応援団演舞や看板制作にも責任を持ち取り組んでいました。今年の応援団は3年生のみで編成し、各団のシンボルである看板は、1・2年生の協力を得ながら完成させていました。子供たち主体の体育大会ですが、先生達にも裏方でしっかり寄り添い、サポートしてもらいました。

そのことは、川元青団団長、山本赤団団長の選手宣誓の言葉にも表されていました。恒例の3年親子競技では、田浦の親子の仲の良さ、絆の深さを感じさせてもらいました。宮崎PTA会長、猪木副会長はじめ保護者の皆様の盛り上げに圧倒されたと同時に感謝の気持ちでいっぱいです。長距離走では、1年生の生徒に寄り添う3年生の優しい姿もあり感動しました。長距離走は、言わずもがなですが、とてもきつい種目であります。それ故、走りきったときの達成感の大きさは何とも言えないものがあります。2年生は、このきつい種目を自ら拳手し走ってくれた生徒をサポートする姿がありました。放課後にクラスの仲間が集まりランニングに汗を流していました。苦手なことやつらいことから逃げるのではなく、「チーム」として立ち向かっていき絆を深めていました。1年生も中学校初めての体育大会を先輩の指導にも素直に耳を傾け、練習や競技に一生懸命に取り組み、たくましさが出て大きく成長した姿を見ることができました。一大行事である体育大会を保護者の理解と協力を得て成功させることができましたことを感謝申し上げます。

ホームページで情報発信『[芦北町立田浦中学校](#)』で検索を

芦北町では、論語教育に力を入れています。孔子の晩年の弟子たちは、年齢も離れ洗練された教育を受けるために孔子に学問を学ぼうとした人々です。彼らによって儒学の基礎が築かれました。